

事例② 国際ビデオ会議への利用

【抱えていた課題】

- 海外支社と日本本社での国際ビデオ会議を定期的に行っているが、中国国内、及び、東南アジアの一部の国の支社ではビデオ会議システムを利用しているにもかかわらず、映像はほとんど鮮明に映らないため、ビデオ会議システムを利用しながら音声のみで利用せざるを得なかった。

音声に関しても途切れたり、聞き取れない状態も度々起こっていた。

【採用に至った経緯、ポイント】

- ビデオ会議接続専用のMiniルーターを既存の社内ネットワークに接続するだけの簡単な仕組みだったこと。
- 導入が簡単なため、気軽に事前検証も行うことができ、改善効果を体感できたこと。
- 国際間でのビデオ会議の利用に限定特化した接続サービスメニューがあり、コストパフォーマンスが高かったため。

【導入効果】

- IX-NETを利用すると、音声途切れることはほとんど無くなり、映像も鮮明に映るようになり、ビデオ会議として利用できるようになった。

【サービス名】

- IX-NET for ビデオ会議

